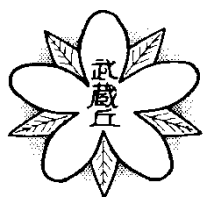


学校通信

教育目標「元気」「本気」「根気」 令和8年9月28日発行



武蔵丘 10月号

烏山学舎世田谷区立武蔵丘小学校 校長 今宮 直樹
世田谷区北烏山 1-47-11 TEL 03-3308-6722
URL <http://school.setagaya.ed.jp/muka/>



子どもたちをみんなで見守る「チーム学校」

副校長 佐々木 哲通

本校では2学期より、3年生から6年生で教科担任制を始めました。教科によって担当する先生が変わる、新しい学習スタイルです。東京都でも小学校における教科担任制の導入を段階的に進めています。専門性の高い授業の実現や、複数の教員による児童理解、中学校への円滑な接続などを目的としており、今後さらに広がっていく教育の姿の一つです。

導入前は、「子どもたちが戸惑うのではないかと心配する声もありました。しかし、実際に子どもたちに感想を聞いてみると、「別に普通」「もう慣れた」「いろいろな先生と話せて楽しい」といった反応が多く聞かれます。どうやら緊張していたのは、子どもたちよりも先生たちの方だったようです。

教科担任制のよさの一つは、一人の子どもに複数の教員が関わることです。担任とは違う先生が、その子の得意なことや頑張っている姿に気付くこともあります。また、子どもたちにとっても、相談したり話をしたりできる大人が増えることにつながります。教員にとっても、担当する教科の教材研究を深めることで、より充実した授業づくりにつなげることができます。

一人の子どもを、いろいろな立場の大人がそれぞれの視点で見守る。教科担任制は、そんな学校の良さを改めて感じるきっかけにもなりました。そして、子どもたちを支えているのは教員だけではありません。本校には子どもたちの学校生活を様々な立場から支えているスタッフがいます。

実は、先日の学校運営協議会では「支援員さんやサポーターさんがたくさんいるけれど、それぞれ何をしているのか違いがよく分からない」というご意見をいただきました。そこで、少しですが紹介したいと思います。

「インクルーシブ教育支援員」は学校での子どもたちの学びや活動への参加を支援しています。「エデュケーション・アシスタント」は主に1年生の担任とともに学習活動や学校生活を支えています。「学校生活サポーター」は子どもたちの学校生活全般を見守ってくれています。また、「スクール・サポート・スタッフ」は、主に教員の教育活動を支えています。

役割はそれぞれ違いますが、共通しているのは「子どもたちのために働いている」ということです。教室で学ぶ姿を見守る人、困ったときに寄り添う人、授業を支える人、先生を支える人。学校にはたくさんの大人がいて、それぞれの立場から子どもたちの成長を見守っています。

今の学校は、「担任の先生だけが子どもを支える学校」から、「多くの大人が関わりながら子どもを支える学校」へと変わってきています。

一人の子どもに、多くの目と多くの心を。

これからも本校は、「チーム学校」として、子どもたち一人一人の成長を温かく支えていきたいと思っています。